

回アブラハムを選んだ理由

Gen 18:18 アブラハムは必ず大きな強い国民となって、地のすべての民がみな、彼によって祝福を受けるのではないか。

Gen 18:19 わたしは彼が後の子らと家族とに命じて主の道を守らせ、正義と公道とを行わせるために彼を知ったのである。これは主がかつてアブラハムについて言った事を彼の上に臨ませるためである」。

平和：民をさばく
国々が仕える

全世界に平和

- 5 彼は日と月とのあらんかぎり、世々生きながらえるように。
- 6 彼は刈り取った牧草の上に降る雨のごとく、地を潤す夕立ちのごとく臨むように。
- 7 彼の世に義は栄え、
- 8 平和は月がなくなるまで豊かであるように。
- 9 彼は海から海まで治め、
- 10 川から地のはてまで治めるように。
- 11 彼の敵はちりをなめるように。
- 12 シバとセバの王たちは贈り物を携えて来るように。
- 13 もろもろの王は彼の前にひれ伏し、
- 14 もろもろの国民は彼に仕えるように。

王の王(大王)
サレムの王
ソロモン、平和

72:19 栄光の御名
その栄光ある名はとこしえにほむべきかな。全地は
その栄光をもって満たされるように。

全世界から繁栄と名声

- 15 彼は生きながらえ、シバの黄金が彼にささげられ、彼のために絶えず祈がささげられ、ひねもす彼のために祝福が求められるように。
- 16 国のうちには穀物が豊かにみのり、その実はレバノンのように山々の頂に波打ち、人々は野の草のごとく町々に栄えるように。
- 17 彼の名はとこしえに続き、その名声は日のあらん限り、絶えることのないように。
- 18 人々は彼によつて祝福を得、
- 19 もろもろの国民は彼をさいわいなる者となえるように。

救い：民を救う
国々がほめたたえる

回巻物の最後の頌栄

- Psa 41:13 イスラエルの神、主はとこしえからとこしえまでほむべきかな。アメン、アメン。
- Psa 89:52 主はとこしえにほむべきかな。アメン、アメン。
- Psa 106:48 イスラエルの神、主はとこしえからとこしえまでほむべきかな。すべての民は「アメン」ととなえよ。主をほめたたえよ。

回バプテスマのヨハネの父ザカリヤの歌

Lke 1:68-75 「主なるイスラエルの神は、ほむべきかな。神はその民を顧みてこれをあがない、あしたたちのために救の角を僕ダビデの家にお立てになった。古くから、聖なる預言者たちの口によつてお語りになったように、あしたたちを産みながら、またすべてあしたたちを憎む者の手から、救い出すためである。こうして、神はあしたたちの父祖たちにあわれみをかけ、その聖なる契約、すなわち、父祖アブラハムにお立てになった誓いをおぼえて、あしたたちを産む手から救い出し、生きてゐる限り、きよく正しく、みまんに恐れなく仕えさせてくださるのである。

回シバの女王の賛美

1Kg 10:1 シバの女王は主の名にかかあるソロモンの名声を聞いたので、難問をもってソロモンを試みようとなつてきた。：2 彼女は多くの従者を連れ、香料と、たくさん金と宝石とをたくさんに負わせてエルサレムにきた。彼女はソロモンのもとにきて、その心にあることをことごとく彼に告げたが、：3 ソロモンはそのすべての間に答えた。王が知らないで彼女に説明のできないことは一つもなかった。：4 シバの女王はソロモンのものもの知恵と、ソロモンが建てた宮殿、：5 その食卓の食物と、列座の家来たちと、その侍臣たちの伺候ぶり、彼らの服装と、彼の給仕たち、および彼が主の宮でささげらるる祭を見て、全く心を奪われてしまった。

：6 彼女は王に言った、「あしたか国であなたの事と、あなたの知恵について聞いたことは真実でありました。：7 しかしあしたがきて、目に見るまでは、その言葉を信じませんでした。今見るとその半分もあはしは知らされていなかったのです。あなたの知恵と繁栄はあしたが聞いたうあさにまさっています。：8 あなたの樂方たちはさいわいです。常にあなたの前に立って、あなたの知恵を聞く家来たちはさいわいです。：9 あなたの神、主はほむべきかな。主はあなたを喜び、あなたをイスラエルの位にのぼらせられました。主は永久にイスラエルを愛せられるゆえ、あなたを王として公道と正義とを行あせられるのです」。

72

貧者を公正にさばく

- 1 神よ、あなたの公平を王に与え、あなたの義を王の子に与えてください。
- 2 彼は義をもつてあなたの民をさばき、公平をもつてあなたの貧しい者をさばくように。
- 3 もろもろの山と丘とは義によつて民に平和を与えるように。
- 4 彼は民の貧しい者の訴えを弁護し、
- 5 乏しい者に救を与え、
- 6 しいたげる者を打ち砕くように。

義王・貧者を憐れむ
メルキゼデク
ダビデ、魚み

72:18 くすしいあざ
イスラエルの神、主はほむべきかな。ただ主のみ、くすしみあざをなされる。

貧者をあわれむ

- 12 彼は乏しい者をその呼ばれる時に救い、
- 13 貧しい者と、助けなき者とを救う。
- 14 彼は弱い者と乏しい者とをあわれみ、
- 15 乏しい者のいのちを救い、
- 16 彼らのいのちを、しいたげと暴力とからあがなう。
- 17 彼らの血は彼の目に尊い。

回ダビデの最後のことば

2Sm 23:1 これはダビデの最後の言葉である。エッサイの子ダビデの託言、すなわち高く挙げられた人、ヤコブの神に油を注がれた人、イスラエルの良き歌びとの託言。
：2 「主の霊はわたしによつて語る、その言葉はあはしの舌の上にある。：3 イスラエルの神は語られた、イスラエルの岩はあはしに言われた、『人を正しく治める者、神を恐れて、治める者は、：4 朝の光のように、雲のない朝に、輝きでる太陽のように、地に若草を芽ばえさせる雨のように人に臨む』。
：5 まことに、あが家はそのように、神と共にあるではないか。それは、神が、よらず偏あつて確かなとこしえの契約をあはしと結ばれたからだ。どうして彼はあはしの救と願いを、皆なしとげられぬことがあるか。：6 しかし、よこしまな人は、いざらのようて、手をもって取ることができぬゆえ、みな共に捨てられるであろう。：7 これに触れようとする人は鉄や、やりの柄をもって武装する、彼らはことごとく火で焼かれるであろう」。

回ダビデからソロモンへの最後のことば

1Kg 2:1 ダビデの死ぬ日があつたので、彼はその子ソロモンに命じて言った。
：2 「あはしは世のすべての人の行く道を行こうとしている。あなたは強く、男らしくなければならぬ。：3 あなたの神、主のさとしを守り、その道に歩み、その定めと戒めと、おきてとあかしとを、モーセの律法にしるされているとおりに守らなければならぬ。そうすれば、あなたがするすべての事と、あなたの向かうすべての所で、あなたは栄えるであろう。：4 また主がさきにあはしについて語つて『もしおまえの子たちが、その道を慎み、心をつくし、精神をつくして真実をもって、あはしの前に歩むならば、おまえに次いでイスラエルの位にのぼる人が、欠けることはなかるう』と言われた言葉を確実にされるであろう。